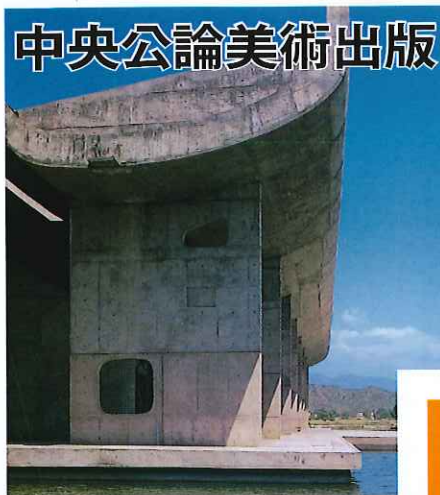


中央公論美術出版



デイヴィッド・ワトキン
西洋建築史

〈全2巻完結〉

白井秀和（福井大学大学院教授）訳

セット本体価（分売可）62,000 円



好評発売中

第Ⅰ巻

メソポタミアとエジプト建築から
バロック建築の発展まで

本体価格 30,000 円

B5 判上製函入／本文 518 頁／口絵 22 頁／挿図 536 点

ISBN 978-4-8055-0709-4 C3052

2015 年 8 月刊行

第Ⅱ巻

18 世紀新古典主義建築から
現代建築まで

本体価格 32,000 円

B5 判上製函入／本文 512 頁／口絵 24 頁／挿図 446 点

ISBN 978-4-8055-0710-0 C3052

本書の概要

著者ワトキンはケンブリッジ大学で教鞭をとった現代を代表する建築史家である。その史観の根底をなすのは、あくまで冷徹なイギリス流のクラシックなアカデミズムである。本書は古代から現代までの多様な世界建築史の流れを、独特かつ柔軟な観点から考察した出色の通史であるが、情熱溢れる記述がその冷徹な殻を破って随所に現れる個性溢れる見解の得難さは、類書を隔絶した面白さがある。訳者の明快・周到な翻訳とあいまっての名著の公刊。

目次

第Ⅰ巻

メソポタミアとエジプト建築から バロック建築の発展まで

序文〔緒言〕

第1章 メソポタミアとエジプト

第2章 古典的基盤：ギリシャ、ヘレニスティック、ローマ

第3章 初期キリスト教とビザンティン

第4章 カロリング朝とロマネスク

第5章 ゴシックの試み

第6章 ルネサンスの調和

第7章 バロックの拡がり

第Ⅱ巻

18世紀新古典主義建築から 現代建築まで

第8章 18世紀の古典主義

第9章 19世紀

第10章 アール・ヌーヴォー

第11章 20世紀

第12章 21世紀

用語解説 / 類書案内(参考文献) /

謝辞 / 訳者あとがき / 索引

著者略歴

デイヴィッド・ワトキン (David Watkin)

1941年生

ケンブリッジ大学美術史学科建築史講座・名誉教授。
ケンブリッジ大学美術学部・図書館司書、同大学、ピーターハウス・カレッジのフェロー(特別研究員)を経て、
1972年よりケンブリッジ大学美術学部美術史学科・助教授、1989年同学科・学科長。

主要邦訳書：

『モラリティと建築』榎本弘之訳、鹿島出版会、1981年(原著：Morality and Architecture: The Development of a Theme in Architectural History and Theory from Gothic Revival to the Modern Movement, Oxford University Press, 1977〔初版〕)

『建築史学の興隆』桐敷真次郎訳、中央公論美術出版、1993年(原著：The Rise of Architectural History, The Architectural Press, 1980)

『新古典主義・19世紀建築』全二巻〔ロビン・ミドルトンとの共著〕土居義岳訳、本の友社、1998・2002年(原著：Neoclassical and 19th Century Architecture, Harry N. Abrams, 1980〔合本〕；Electa/Rizzoli, 1987〔二巻本〕)

訳者略歴

白井 秀和 (しらい・ひでかず)

1951年生

福井大学大学院工学研究科教授。工学博士。
京都大学工学部建築学科卒業、同大学院工学研究科修士課程修了、同博士課程研究指導認定退学
パリ国立高等美術学校(エコール・デ・ボザール) U.P.6 留学
専門：フランス・イタリア建築思潮、建築論、西洋建築史

主要著訳書(*は弊社刊)：

J. F. ブロンデル『建築序説』1990年*

『カトルメール・ド・カンシーの建築論』ナカニシヤ出版、1992年

E. カウフマン『ルドゥーからル・コルビュジエまで』1992年*

『ルドゥー「建築論」註解Ⅰ・Ⅱ』1993-4年*

E. カウフマン『理性の時代の建築—イギリス・イタリア篇』

1993年、『同一フランス篇』1997年*

H. オナー『新古典主義』1996年*

S. アパークロンビー『芸術としての建築』(SD選書) 鹿島出版会、1996年

A. ヴォジャンスキー『ル・コルビュジエの手』2006年*

『ル・コルビュジエ事典』〔共訳〕2007年*

『建築論事典』〔共著〕彰国社、2008年

お取り扱いは

中央公論美術出版